

北海道駒ヶ岳の噴火警戒レベル

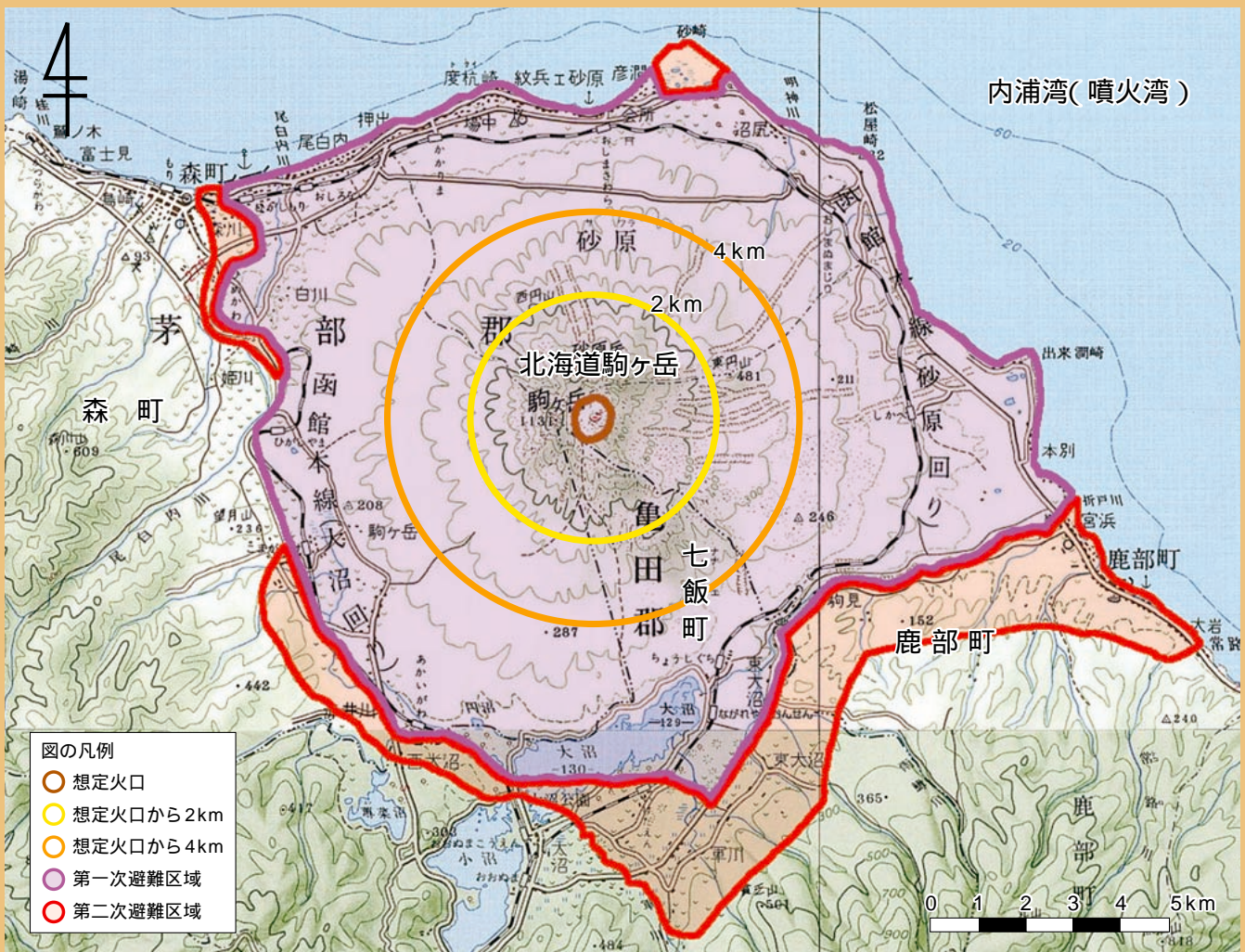
- 火山災害から身を守るために -

噴火予報及び警報で発表する噴火警戒レベル

噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5の5段階に区分したものです。
各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山者等のとるべき防災行動が一目で分かるキーワードを設定しています(レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル1は「平常」)。対象となる火山が噴火警戒レベルのどの段階にあるかは、噴火警報等でお伝えします。



北海道駒ヶ岳 噴火警戒レベルと必要な防災対応



この図は、国土地理院発行の20万分の1地勢図「室蘭」「函館」を使用して作成しています。

警報・予報	噴火警戒レベル(キーワード)	必要な防災対応
噴火警報	5 (避難)	居住地域で避難(状況に応じて、第一次避難区域の避難、第二次避難区域の避難、第三次避難区域の避難を実施) 第三次避難区域は、大噴火が発生した際に上空の風向きに応じて、第二次避難区域のさらに風下側に設定される。
	4 (避難準備)	居住地域で避難準備
火口周辺警報	3 (入山規制)	状況に応じ、入山の規制
	2 (火口周辺規制)	状況に応じ、火口周辺への立入規制
噴火予報	1 (平常)	状況に応じ、火口内や火口近傍への立入規制

この噴火警戒レベルは、地元自治体と調整して作成したものです。
なお、北海道駒ヶ岳では現在火口周辺4km以内の立入規制(入山規制)が行われています。



札幌管区気象台 火山監視・情報センター
TEL : 011-611-2421 <http://www.sapporo-jma.go.jp/>
函館海洋気象台 業務課 TEL : 0138-46-2211
<http://www.hakodate-jma.go.jp/>

